

# 21世紀初頭の朝鮮の経済建設環境

朝鮮社会科学院経済研究所 室長 リ・ギソン

## 1. 21世紀初頭の朝鮮における経済建設の環境

朝鮮における経済建設は、新世紀に入っても尖鋭な情勢と厳しい環境の中で進んでいる。

### 対内的な環境

「苦難の行軍」<sup>1</sup>は勝利のうちに終わったが、21世紀初頭の国の経済事情は未だに難しい状況下にある。

多くの工場や企業所が動き出したが、原料や資材、動力が不足して、全般的な生産正常化ができておらず、人民らに食料や一次消費品<sup>2</sup>をきちんと供給できないでいる。国の財政状況もかなり厳しい。国家予算の収入と支出計画は、「苦難の行軍」が始まる前の年である1994年に比べ、2005年には相当減少している。

### 対外的な環境

新世紀に入ってから、米国をはじめとする国際反動たちの反共和国経済封鎖策動が極度に達している。朝鮮を「悪の枢軸」と呼び、「核先制攻撃」まで叫んでいた米国は、反共和国経済制裁を国際化するに至った。米国は、わが国を経済的に窒息させるため、周辺国に対して朝鮮との貿易を減らし、わが国の「武器輸出」を阻止することを強要した。米国は、送金遮断、船舶・飛行機の取り締まりおよび拿捕、海上封鎖など、朝鮮に対する「国際的包囲網」戦略を掲げ、現在はその実現段階に入っており、さまざまな事件をでっち上げてきた。

とくに米国は「米朝基本合意文」により提供することになった軽水炉の建設を一方向的に破棄し、補償としての重油の供給さえ中断した。そのため、朝鮮の電力事情はさらに厳しくなった。最近の米国は新たな「金融制裁」まで加えながら、わが国の内部を経済的に混乱させようと卑劣な策動を行っている。ここに日本反動までもが、わが国に対す

る単独経済制裁を強行しようとして大騒ぎしている。

「苦難の行軍」の余波が未だ残っていて、かつ米国を始めとする国際反動たちの反共和国経済制裁策動が経済発展に少なくない障害をもたらしてはいるが、朝鮮における社会主義経済建設はすべての困難を乗り越え、力強く展開されている。

## 2. 朝鮮において経済建設を促進するためにとられている対策と措置

朝鮮では、現存する経済的難関を打開し、社会主義経済強国の建設を促すために、新世紀の現実的要求に応じた戦略的な対策を打ち出し、徹底してそれを実行している。

### 先軍時代における経済建設路線の貫徹

社会主義経済の建設を円滑に保障するために、何よりもまず先軍時代<sup>3</sup>の経済建設路線を新たに打ち出し、それを実現させようとしている。

経済建設において基礎的な問題のひとつは、時代的要求に合わせて、その基本方向を正しく定めることである。過去には、国の経済土台づくりと人民生活の問題を正しく結合させる見地から、経済建設の基本方向が規定されていた。帝国主義者らの侵略策動が続き、ますますそれが憂慮される今日の朝鮮においては、国防建設と経済建設、人民生活を正しく結合させる見地から、経済建設の基本方向を規定し直さねばならない。

先軍時代は、経済建設で生じるいかなる問題についても、軍事重視、軍事先行の原則にもとづいて解決することを要求する。

朝鮮では、先軍時代の要求に応じて、2002年に国防工業を優先的に発展させながら、軽工業と農業を同時に発展させる新たな経済建設路線が提示された。すなわち先軍時代

<sup>1</sup> 【訳者注】北朝鮮の経済状況が最も厳しかった1996年1月から2000年10月まで続いたキャンペーン。1996年の『労働新聞』『朝鮮人民軍』『労働青年』新年共同社説では「苦難の行軍」精神を「自力で革命を最後まで行う自力更生の精神、逆境の中でも敗北主義と動揺を知らず難関を克服していく楽観主義の精神、安楽を願うことなく刻苦奮闘する不屈の精神」と定義している。もともと、「苦難の行軍」とは、満州にいた抗日バルチザン部隊が1938年末～1939年の春、日本軍の包囲から抜け出し、朝鮮に進出するために行った100日間の行軍のことである。

<sup>2</sup> 【訳者注】醤油、みそ、塩、洗顔石鹸、洗濯石鹸、洗顔用タオル、糸、歯磨き粉、歯ブラシ、家庭用燃料、靴下、靴、パンツ（下着）の13品目のことをいう。

<sup>3</sup> 【訳者注】先軍時代における政治、すなわち先軍政治とは、軍事を重視し、軍事を先行させ、政治と軍事を有機的に結びつける政治方式である。防衛面だけでなく、経済建設をはじめ社会主義建設全般において、軍が中心的役割を果たすことも意味している。例えば、養魚場、食料工場、牧場などの建設や土地整理事業など建設工事において軍人が中心的役割を果たしているのがその例である。

の経済建設路線は、社会主義強盛大国建設の戦略的な経済路線である。

先軍時代の経済建設路線における基本は、国防工業を優先的に発展させることである。国際反動らとの最も熾烈な対決が繰り広げられる朝鮮では、軍事が第一であり、国防工業が優先であり、国防工業を強化・発展させることは、我々にとって死活的な問題として提起される。

我々は、経済建設において、国防工業に高い優先順位を与え、国防工業の発展に最大限の努力を傾注している。今日わが国の国防工業は、朝鮮式の強力な軍事装備と、戦闘技術機材などを自由自在に作り出している。

国防工業の優先的発展はその基礎となる重工業の発展を前提としている。我が国では軍需生産にかかわる重工業部門の生産能力を優先的に高めつつ、基幹工業全般の発展に大きく力を注いでいる。

国防工業を確固として優先することにあわせて、軽工業と農業を同時に発展させ、人民生活を画期的に高めることは、先軍時代の経済建設路線が求めている重要な事項である。国防建設と経済建設、人民生活のうち、どの分野により力を入れるかは、情勢の変化と現実的な条件によって異なるものの、常に人民生活の改善を図ろうとする社会主義経済建設の根本的な目的には変わりはない。

朝鮮では、人民に食糧と一次消費品を円滑に提供することを当面の課題とし、農業と軽工業の発展に力を注いでいる。

今日の朝鮮の現実、国防工業を優先的に発展させながら、軽工業と農業を同時に発展させていく路線こそが、国の軍事をあらゆる方法で強化させながらも、人民生活を画期的に高める、先軍時代の最も力強くかつ優れた社会主義経済建設路線であることを明確に示している。

#### 人民経済の技術的改善と現代化、情報化の推進

現存する経済的な難関を克服し、社会主義経済建設を推進するために、人民経済の技術的な改善と現代化、情報化を積極的に推進している。

人民経済を改造・現代化させるのは、経済発展への合法的な要求であり、わが国の経済の実態から切実な問題として提起されている。

1950～60年代にかけての戦後復旧建設の時期と、工業化時期に作られた数多くの工場・企業所は、設備と生産工程が古かったり、遅れていたたりしている。我々は1990年代に作り出された経済的な難関により、老朽設備と生産工程などをほとんど更新することができなかつた。わが国の経済、特に工業におけるこのような実態に関連して、経済の改造・

現代化は経済建設にとって焦眉の問題、要の問題となっている。

新世紀の情報産業時代の要求に合う、人民経済の改造・現代化の最も科学的かつ現実的な目標を掲げ、国の実情にあった形でそれを実現しようとしている。

人民経済の改造・現代化の目標は、経済のすべての部門を、現代科学技術の先端に立つ、最も優れた最新の設備と技術で装備することである。

莫大な資金を要する改造・現代化の目標を実現するうえで、国の経済状況が厳しいという現実的な条件を考慮し、わが国の実情に合う改造・現代化の方向と方法を規定し、ひとつひとつ実効性が上がるように実現しようとしている。

既存の生産インフラの古い生産設備と生産工程を、現代的な技術により改善することを基本にしながら、最新技術で装備した工場を一括して導入するのが、我々が堅持している経済の改造・現代化の方向である。そして最も緊要で、実利のある部門や対象、その中でも実利が上がる対象から先に行い、現代化された見本となる工場を作り上げ、それを一般化していくことが、我々が適用している改造・現代化の方法である。まさにこれが一が十を、十が百、百が千を改造・現代化していく方法である。

#### 社会主義経済の管理方法への改善

現存する経済的難関を克服し、社会主義経済建設の目標を実現するため、また時代と現実的な要求に応じて、主体的な立場から社会主義経済管理の改善を図っている。

社会主義は歴史が短く、经济管理の経験も不足しているため、社会主義经济管理方法には未熟な点が多く、完成されたものと見ることはできない。

変化しつつある環境と時代的な要求に応じて、社会主義经济管理を改善し、完成させていくことは、社会主義経済発展への合法的な要求である。

新世紀が始まった最初の年に、社会主義強盛大国建設の要求に応じて社会主義经济管理を改善し、完成させるなかで、社会主義原則を確固として守りつつ、最も大きい実利を得られる经济管理方法を見つけ出すことを最も重要な原則に掲げ、その実現に努力している。

社会主義経済において、経済の主人である人民大衆の自主的要求と利益を擁護し、それを実現していくことが経済建設と经济管理の基本原則となる。社会主義原則を正しく具現し、社会主義経済の優越性を高く発揚させることがすなわち、社会主義经济管理を改善し、完成させていく道であり、経済建設で最も大きな実利をもたらす道である。

我が国では、新世紀での社会主義経済管理改善の最も重要な原則から離れることなく、経済管理問題を朝鮮式で解決していくことに大きな力を注いでいる。

何よりもまず、経済に対する国家の中央集権的、統一的指導をしっかりと保障しながら、下層単位の責任性と、創意・工夫を高く発揚させている。

経済に対する国家の中央集権的、統一的指導は社会主義経済の本質的要求であり、生命線である。われわれは経済事業において、内閣の機能と役割を高め、内閣の統一的な指導下で経済建設を進めており、内閣と省、中央経済指導機関が、国家的に重要かつ戦略的な意義を有する部門と対象を直接掌握し、計画事業と資材の供給事業を行うようにしている。計画経済の枠のなかで、国家の統一的な指導の下に工場、企業所の経営上の権限を一定範囲で拡大した。それほど重要性の高くない細部の指標の生産計画は工場、企業所等が自ら立て、収入による経営方法を受け入れ、国家納付を徹底して行う条件の下で、自ら生産を拡大し、労働に対する報酬を増やすようにしている。

次に、変化した環境と現実発展の要求に合わせ、社会主義経済を合理的に管理運営するための経済的措置を実施している。

2002年7月、経済事業において実利を保障し、労働者らの生産意欲を高めることを目的として、価格と生活費<sup>4</sup>を全般的に改定する措置をとった。また、社会主義計画経済を円滑に運営するための補助的な措置もとっている。

社会主義経済は計画経済であり、その核心をなすのは、国家的、全人民的所有に基づく国営企業である。ここから、社会主義経済管理の面では、国営企業を基本とし、その強化・発展に優先的に力を入れることとなる。国営部門での生産を早急に発展させ、そのもとで原料、資材の計画的な供給と国営商業での消費品の供給も増やしていくようになる。

生産手段の流通領域において、生産および建設に必要な原料、資材を国が細部に至るまですべてを供給することができないという現実的な条件の下で、工場、企業所が互いに融通しあって、両者が抱えている問題を解決しようとする物資<sup>5</sup>交流の方法が実施されている。

消費商品の流通分野では、未だ生産が正常化されておらず、国営商業がきちんと稼動していない状況で、地域別に市場をつくって、商品の源泉を最大限動員して住民の生活

に役立てるようにしている。その他、収入中心の財政管理体制を樹立するなど一連の経済的措置をとっている。

社会主義原則に基づいた国家的な経済政策は、今日の現実的な条件下で、国の経済を活性化させ、人民生活を安定・向上させていくにあたって大きな力を発揮している。

### 3. 21世紀初頭の5年間にわたる経済的な成果

新世紀に入ってから5年の間、全般的に経済が活性化する道に入るなどの成果が成し遂げられた。

#### 人民経済の先行および基幹工業部門での前進

何よりも人民経済の先行ならびに基幹工業部門を決定的に立て直すことに前進がみられた。

電力、石炭、金属、鉄道運輸をはじめとする重工業部門に国家投資のかなりの部分をあてて、生産の潜在力を最大限に発揮させながら、物質技術的土台をさらに強化したのである。

電力は近代産業の基本動力である。新世紀の経済建設にとって最も大きな問題の一つは電力不足であった。電力工業に優先的に力を注ぎ、火力および水力発電所の設備、構造物の補修整備と改善、特に新たな発電所の建設を積極的に行って発電能力の向上を図った。水力資源が豊富なわが国の実情に合わせ、大規模な水力発電所の建設を中心に、中小規模の水力発電所を数多く建設した。過去5年の間、内坪発電所、臨津江発電所、安辺青年2号発電所をはじめ、百数個の発電所を竣工・操業した。自力で電力工業を回復させ、2004年からは電力生産の変動性が克服でき、2005年には発電量が11%増加し、短期間に電力供給を増やす保証も確保できた。

採取鉱業は近代産業の先行工程である。茂山鉱山連合企業所と検徳鉱業連合企業所をはじめ多くの鉱山が改善・拡張され、その様相を一新し、生産正常化の軌道に乗りはじめた。石炭生産においても前進があった。これにより、原料、燃料問題を自力で解決して、全般的な工業発展の展望を打ち出すことができるようになった。

金属工業部門では、製鉄、製鋼所の設備への補修・整備を促進する一方で、九月製鉄連合企業所に超高压電気炉を、黄海製鉄連合企業所に100トン電気炉を建設し、製鋼能力を高めた。特に、コークス炭が生産できない現在の実情から、国産の原料と燃料による鉄の生産基地を作ること

<sup>4</sup>【訳者注】賃金のこと。

<sup>5</sup>【訳者注】一般に物資とは生産財、商品とは消費財のことを意味する。

力を集中している。西部地区での豊富な鉄鉱石により、主体的な鉄の生産工程が確立され、金属工業の自立性を強化するのに新たな道が開けたのである。

耐火物工業において中心となるのはマグネシア・クリンカーである。わが国は世界埋蔵量の多くを占める数十億トンのマグネサイトをもち、その純度も大変高い。過去には他国から輸入したコークスと重油を燃料とし、マグネシア・クリンカーを生産してきた。これはわが国における耐火物工業の不安定要素であり、結局「苦難の行軍」の時期に燃料不足に直面するに至った。

最近、電気溶融法で高品質のクリンカーを生産することに対する方向性を定め、推進している。数十年の間、使われることなく放置されていた数百万トンのマグネサイトの粉鉱を用いて、質のよい珪素マグネシアを作り出すという朝鮮式の生産方法が導入されている。

新世紀においても、鉄道運輸を人民経済の他の部門より、優先的に発展させる政策を一貫して行っている。鉄道運輸部門では、鉄道構造物の技術状況が改善され、数百両の現代的な客車が生産され、より文化的な旅行条件が整えられ、現代的なスパン鉄筋コンクリート枕木工場と鉄道部品の生産基地が新しく作られた。同時に、数万トン級の船を同時に修理することのできる嶺南船修理工場2号ドックならびに南浦港のコンテナ埠頭が新たに建設されたことを始めとして、重要な貿易港への改善・拡張工事が順調に進み、全般的な交通運輸の物質的な土台がさらに改善された。

化学工業および建材工業の発展でも大きな前進が成し遂げられた。国内のガラス需要を充足することができる、大安親善ガラス工場が朝中親善の象徴として建設され、28ピナロン連合企業所に現代的な苛性ソーダ生産工程が作られた。新しい炭酸ソーダ生産工程が開発され、順川セメント連合企業所に原料サイロ均質化システムが導入された。

最近、人民経済の改造・現代化でも少なからず成果がみられた。

特に、ここ数年間に機械工業、建材工業、軽工業部門の多くの工場、企業所が柔軟な生産体系を始めとする先端の技術設備によって改善・現代化された。さまざまな数値制御工作機械と油圧設備、新型の圧縮機、現代的な建設機械と高性能の紡織設備などが開発された。28ピナロン連合企業所と興南肥料工場をはじめとする化学工業部門と金属工業部門において、改造・現代化が積極的に推進された。なかでも情報産業化時代の要求に合わせて、工作機械を自動操縦する体系を完成させ、ナノ技術設備を開発した。様々な自動化器具工場に、高い水準の集積回路設計技術と朝鮮式のコンピュータ操作体系に基づいて、コンピュータの組

み立てラインと集積回路生産基地が築かれた。コンピュータの地域網と部門網を整備し、道、市、郡での光ファイバー通信化を実現したことに基づき、数百の里に光ファイバー通信網を拡大し、通信の現代化を積極的に進めた。

数年後には、工業、企業所の設備を現代的なものに更新し、人民経済の技術装備を改善する明るい見通しを持っている。

人民経済の現代化、情報化のための科学技術人材、特に情報技術における人材養成事業を他のどのような事業よりも優先して実施している。大学をはじめとするすべての学校でコンピュータ教育、情報技術教育を強化しつつ、コンピュータの秀才養成基地をしっかりと築き、なかでも2005年には金策工業総合大学にアジアでも有数の現代的な電子図書館を建設した。技術者、専門家の数は、2002年の203万人から2005年には212万5千人へと増加した。

新世紀の時代的な要求に応じて、経済路線と戦略を徹底的に実現し、困難で複雑な情勢と環境のなかでも、全般的に経済的土台を強化し、生産を速い速度で拡大してきた。国内総生産額と人口1人当たりの国内総生産は着実に増加している。

#### 農業と軽工業の発展

我が国の社会主義経済強国の建設では、農業および軽工業部門の改革を積極的に推進し、食の問題と一次消費品の問題解決において新たな展望が開く成果が成し遂げられた。

農業は、人民経済の二大部門の一つである。現時点での人民生活の問題を解決するのに欠かせない最も重要な問題は、人民に食糧を円滑に供給することである。

我が国は1980年代まで食糧を自給自足してきた。1990年代に引き起こされた経済的な困難の中で、最も深刻な問題の一つが食糧不足であった。

現代の農業科学技術の発展趨勢とわが国の農業の実態等を考慮し、1990年代半ばに農業生産と技術面での根本的な改革を促すために、新たに農業方針を掲げて、その実現に努力している。

適地適作の原則で、わが国の農業生産構造から大胆に改善させるようにした。過去の農業生産では米とトウモロコシが主流を占めていた。米とトウモロコシの栽培に適していない北部の山間地方ではジャガイモ農業を中心とするか、あるいは当該地帯での栽培に適した作物を多く栽培するように方向転換を図った。最近、新たな大豆の種子を手に入れるようになったので、大豆農業を積極的に奨励し、2004年には大豆の生産量が前年に比べて3倍以上も増えた。

農業改革では種子革命を基本として規定し、その実現に力を入れた。育種事業で最近の科学技術を積極的に受入れ、わが国の気候・風土にあった優良品種を多く作り出した。2005年に農業生産において新たな進展がもたらされた秘訣の一つは、われわれが国内で開発した良い品種と外国から導入した品種を、わが国の気候・風土に適用させ、多収穫品種を多く栽培したことである。

ジャガイモ農業革命を力強く繰り広げ、北部の高山地帯はもちろんのこと、すべての適地にジャガイモの栽培を大々的に推進し、ジャガイモ農業での新たな営農方法も開発した。

1人あたりの平均耕作地面積が世界平均の3分の1にも満たない条件下にある土地を最大限効率よく使い、より多くの穀物生産を行う目的で、二毛作をわが国の実情に即した集約農業として規定した。

土地整理事業は、農業改革の重要な内容の一つであり、社会主義農村建設の基礎を築く大自然改造事業である。1998年から国家的な力量を集中させ、一つの道ずつ集中的に、市、郡では群衆的な方法で土地整理事業を力強く展開した。2004年12月までに、32万400町歩（約3,178平方キロメートル）の土地を、大規模規格の田畑にし、新たな土地もかなり確保できた。わが国の土地構造から古い封建的な残滓が完全になくなり、社会主義の様相へと一新され、農村經理の総合的な機械化を実現することができる基本的な条件が整えられた。土地整理とともに、農村經理の水利化をより高い水準で完成させるための自然流下式水路の建設が力強く推進された。

1997年2月に、西海岸一帯の灌漑体系を、電力を必要とせずとも、水が田畑に自然に流れてくるようにする自然流下式水路体系に変える莫大な設計図を作り、新世紀に入ってから本格的にそれを推進してきた。2年も経たないうちに、10万町歩（約992平方キロメートル）の農耕地に十分な水の供給ができる150kmの价川 - 台城湖水路工事が完成し、2005年には6万町歩（約595平方キロメートル）の農耕地を灌漑することができる270kmの白馬 - 鉄山水路建設が完成した。これは我が国の主要な穀倉地帯である西部地区の灌漑用水問題を解決し、安定した収穫を可能にする上で根本的な転換をもたらす変革である。今年の3月には、2万余町歩（約200平方キロメートル強）の農耕地に灌漑用水を十分に供給し、住民の水問題を完全に解決するため

の、平野における自然流下式水路の建設が着工された。

農業改革を積極的に推進し、特に、2005年には農業にすべての力を集中・動員した結果、農業生産全般において新たな転換が起こっている。

人民の食生活の質的改善を図ることを目標に掲げ、草食動物を多く飼養することを基本にして、畜産業の発展にも大きく力を入れている。これより、恩情畜産専門協同農場と桂南牧場など、過去10年間にかけて畜産専門協同農場は70余個、乳類加工基地は380余個が新たに作られ、多くの山羊牧場が建設された。それ以前に比べて、草原面積は2倍以上、乳生産量は4倍近く増えた。自動化された設備が導入された江界鶏工場を始め、鶏工場が多くの道に建設され、現代的なアヒル工場も新たに建設された。平壤市内の鶏工場は最新技術により改善された。

軽工業の発展でも前進がみられた。新世紀に入り、国の経済状況が厳しいなかでも、先軍時代の経済建設路線の要求にあわせて、軽工業の発展にも国家的に多くの力を入れてきた。

各道に現代的な基礎食品生産基地を作り、新義州化粧品工場をはじめとする化粧品生産基地、精製塩工場と豆乳工場など様々な部門の軽工業工場が多く建設された。そして既存の布地生産基地、日用品の生産基地、靴の生産基地などの生産工程を補強し、改善・現代化を積極的に図った。特に、2005年に平壤紡績工場、船橋メリヤス工場、平壤紡績機械工場などの主要軽工業工場の生産工程が最新設備で装備された。また、軽工業の原料を供給に重要な意義をもつ2.8ピナロン連合企業所の苛性ソーダ、塩化ビニル生産工程が改善された。自立的な軽工業の土台を最大限効果的に使い、必要な大衆消費品を自ら生産・提供しながら、一部の消費品を他国から輸入する方向で、軽工業の構造改善を図っている。

今日、わが国では一次消費品を円滑に生産・供給できることを基本とし、人民生活を向上において転換を引き起こすことができる人民消費品の生産土台が整えられている。

我々の前途には、依然として多くの隘路と難関が横たわっているが、我が人民は新世紀の要求に応じて、わが国の経済と技術を早急に発展させ、短い歴史的期間に社会主義強盛大国、経済強国を必ず打ち立てるであろう。

[朝鮮語原稿をERINA翻訳]